

登録コード	F3000920	開講年度	2026				
授業科目	環境マネジメント					担当教員	高橋 伸英 他
英文授業名	Environmental Management					副担当	林田 信明
単位数	1	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 5Fカリ, 2 4Fカリ, 2 3 Fカリ, 2 2 Fカリ						
	【2020年度以降カリキュラム対象】繊維科学を基盤とし、現実の課題を解決するために、学際・業際領域を切り拓く創造的能力が身に付いている					⇔	繊維科学に関連する総合的な自然科学分野を基盤とし、環境マネジメントのために、学際・業際領域を切り拓く創造的能力が身に付いている
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	学生は環境学生委員会に所属し、環境に関する活動を行う。また、環境マネジメントセミナーに参加し、環境マネジメントについて学ぶとともに、企画およびマネジメントに必要な知識・ノウハウを学ぶ。						
(5)授業計画	定期的開催されるISO学生委員会において、活動計画の立案を行う。立案された活動計画に従い活動し、委員会にて活動状況の報告を行う。委員会開催記録、環境活動記録を作成し、提出する。 環境マネジメントセミナーに参加する。セミナーで学んだことが環境マネジメントにどのように活かせるのかレポートとして提出する。						
(6)成績評価の方法	環境学生委員会での環境活動について以下の①②で、環境マネジメント能力について③④で評価する。 ①環境学生委員会、環境活動への参加：30点 ②環境活動に関するレポート：20点 ③環境マネジメントセミナーへの参加：25点 ④環境マネジメントセミナーに関するレポート：25点 の合計100点で評価する。 秀：90－100点、優：80－89点、良：70－79点、可：60－69点、不可：59点以下						
(7)成績評価の基準	1. 環境学生委員会に参加し真摯に活動する。 2. 活動報告を的確にまとめる。 3. 環境マネジメントセミナーに参加し、 4. 環境マネジメントセミナーに関するレポートについて自らの見解を加えまとめる。 上記の項目を満たしていれば「水準にある」。日頃の環境ISO学生委員会活動や環境マネジメントセミナーに関するレポートが教員が感心するレベルにあれば「卓越している」とし、活動内容やレポートのレベルの応じて「かなり上にある」、「やや上にある」とする。						
(8)事前事後学習の内容	日頃の環境学生委員会活動での活動計画立案のため事前調査を行う。活動結果について活動報告でまとめる。また、環境マネジメントセミナーに関するレポートを作成することで、マネジメント能力を身につける。この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。						
(9)履修上の注意	環境学生委員会としての活動に加え、環境マネジメントセミナーへの参加が必須です。参加申し込みは各自で行うこと。						
(10)質問,相談への対応	質問・相談は、信州大学繊維学部環境委員会事務局（seniecol@shinshu-u.ac.jp）が受け付けます。						
(11)学生へのメッセージ	一言で「環境」と言っても、様々な「環境」があります。共通しているのは、「環境」を良くしたい、ということ。自分の関心のある「環境」について、それを良くするために何をすればよいのか、自主的に、積極的に考え、取り組むことを期待します。						
(12)その他	特になし						
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						